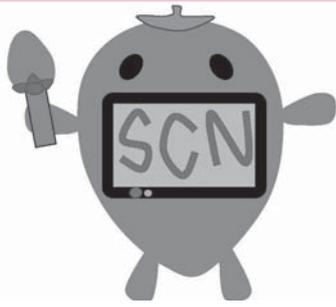


志賀町ケーブルテレビなどについてのアンケート調査結果報告

第2回



志賀町のケーブルテレビ事業は、開局以来3周年を迎えました。これまで、行政情報や各種イベント、地域の話題などを取り上げ「しかチャンネル」で放送してきました。また、防災行政放送端末（IP端末）を通し町内無料電話や高速インターネット環境も利用いただいています。町民の情報化の現状とニーズを把握し、今後の事業展開の参考とするためアンケートを実施しました。

その調査結果について、3回にわたり概要を報告します。今回は第2回です。

アンケート方法

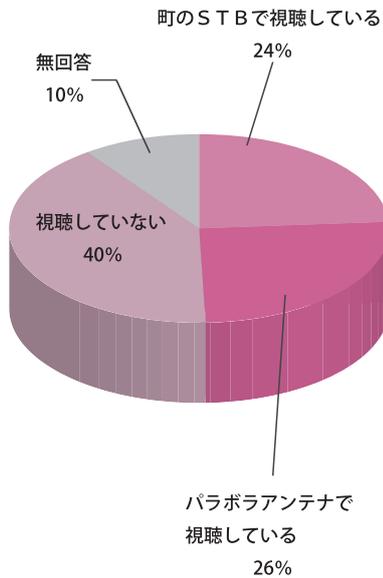
対象 全世帯の約1割の（各地区ごと）
世帯を無作為抽出
対象世帯数 800 世帯

回答数 312 世帯

回答率 38.8%

2

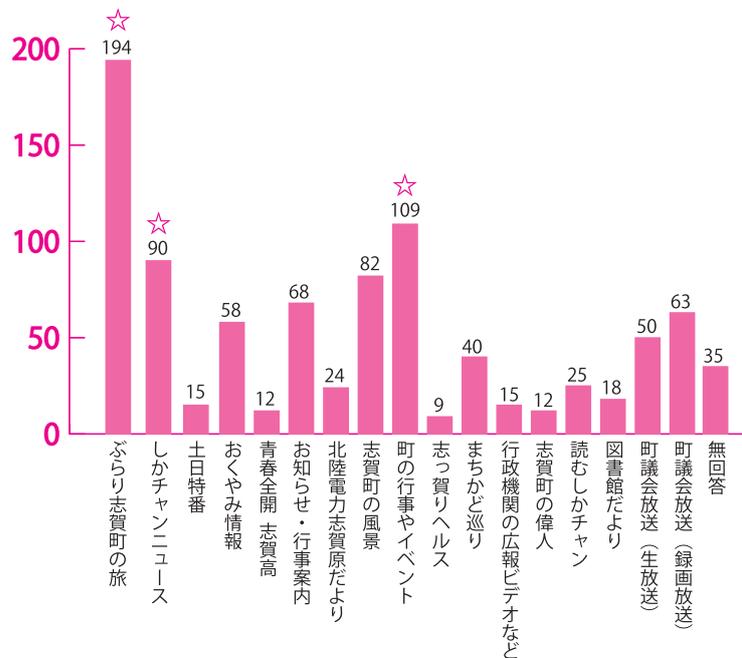
多チャンネル放送（BS・CSなど）の視聴について聞きます。



1

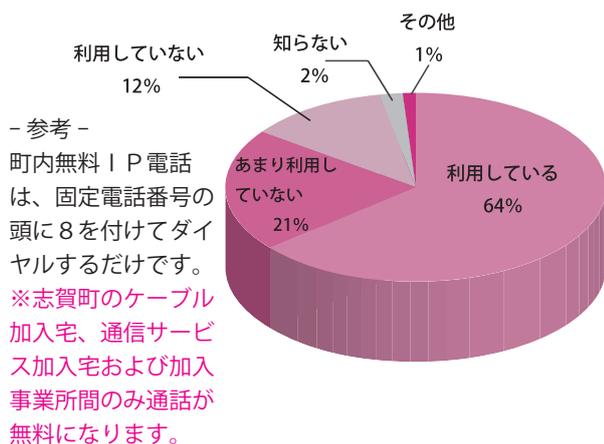
しかチャンネルでよく見る番組はなんですか？

（複数回答可）



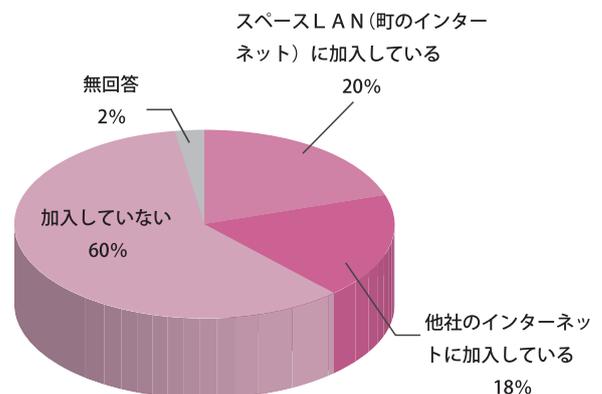
4

町内無料IP電話について聞きます。



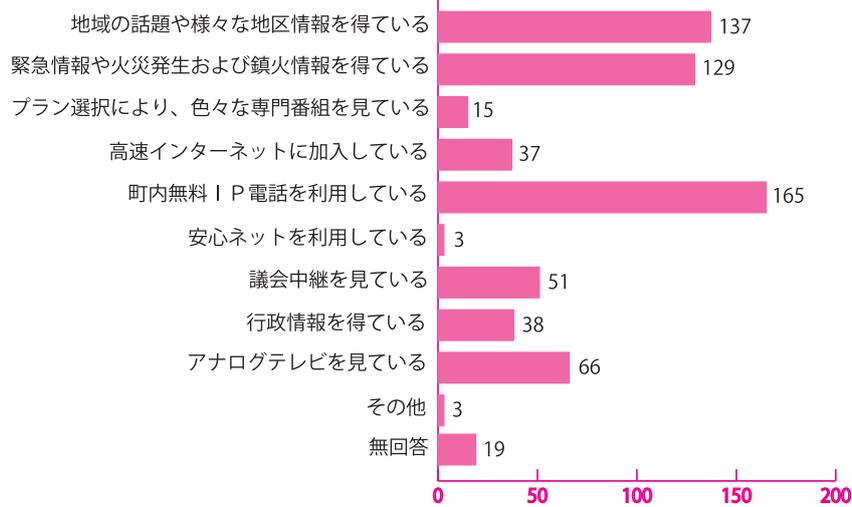
3

インターネットに加入していますか？



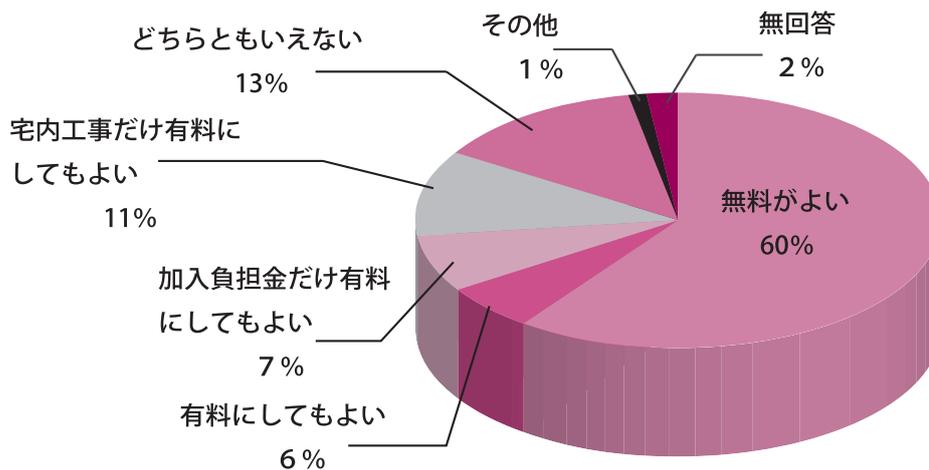
5

町のケーブルテレビ放送やIP音声告知端末機をどのように活用していますか？（複数回答可）



6

現在、住民世帯（事業所・別荘地等は除く）のケーブルテレビへの加入は全て無料で整備していますが、普及率97%を超えた事を踏まえ、今後の経営の健全化に向けてケーブルテレビ加入時の加入負担金および宅内工事費の有料化について聞きます。



7

町ケーブルテレビの活用方法について意見、要望が寄せられましたのでその一部を紹介します。

- やっちゃん祭りのように町のイベントの生放送が時々あれば楽しいです。
- 満足しています。
- 番組が良くない。節約(?)のため時間を1/3にすること。
- 行政、経済、生活全般について町の生の声を茶の間に届ける。
- 行事やイベントの様子を初めから終わりまでテレビで観たい。(現在は3~4シーンしか映っていない)
- 防災、火災、災害などもケーブルテレビに流してほしいです。
- 料理番組。料理の紹介・・・その地区に伝えられる料理の作り方をわかりやすく紹介してほしい。
- ケーブルテレビはあまり利用していないので関心がない。 ○町長、議員と町民との対話をテレビで中継する。
- IPの情報について・・・当初はIP情報が録音されていたが、今は録音されないので放送時留守にしていると聞き逃すことになる。以前のようにできないか。

・・・などの意見、要望が寄せられました。

※アンケート調査結果報告第3回は来月号（12月号）に掲載します。

【お問い合わせ先】 情報推進課 ☎ 32-9261

消したはず 決めつけしないで もう一度

秋季火災予防運動 (11月9日～15日)

11月9日から15日までの1週間、『消したはず 決めつけしないで もう一度』をスローガンに、秋季火災予防運動が実施されます。

これから寒くなるにつれ、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が増え、火災が発生しやすい季節です。

火災はちょっとした不注意で起きています。皆さんの尊い生命や財産が火災によって失われることのないよう、日頃から火の取り扱いには十分注意しましょう。

～ 住宅防火 命を守る 7つのポイント ～

3つの習慣
絶対にダメ！



**あなたの家は
大丈夫？**

4つの対策
備えてますか？



あなたは、火災の怖さを真剣に
考えてみたことがありますか…？

火災から大切な家族の命を守るため
自分自身の命を守るため
地域の安心・安全を守るため
「今」できることがあります。

住宅用火災警報器をつけましょう

住宅用火災警報器
志賀町の設置率
84.7%



住宅用火災警報器
「設置済シール」
を貼りましょう！

住宅用火災警報器を設置しているお宅は、シールの貼付にご協力をお願いします

要注意!!

冬期間中における

『危険物の流出事故』

毎年、家庭や事業所から灯油などが流出する事故が発生しています。
主な原因は、ホームタンクのバルブ閉め忘れ、配管の腐食、落雪などによる配管の損傷などがあげられます。
危険物が流出すると火災の危険はもとより、環境汚染など周辺に大きな影響を与えることとなりますので、次の点に注意して危険物の漏えいを未然に防止しましょう。

油漏れを防止するための注意点

- 1 ホームタンクは、転倒することがないように堅固に固定する。
- 2 ホームタンクや配管に老朽化がないか事前に確認する。
- 3 ホームタンクに自動停止装置を設置する。
- 4 万が一に備え、ホームタンクに防油堤を設置する。
- 5 配管の周りは適宜除雪し、積雪や落雪による配管破損を防ぐ。
- 6 ホームタンクからの小分け中は、絶対にその場を離れない。
- 7 ホームタンクの残量の減少が著しいときは、灯油などの流出がないか確認する。



油漏れを発見した場合

- 1 万が一灯油などが流出した場合は、元栓を閉めるなどの応急措置を行い、直ぐに消防署へ通報する。
- 2 河川などに油が流れているのを発見した場合も消防署へ通報する。

昨冬の 事故事例

- 事例1 ホームタンクから灯油をポリ容器に詰め替えた際、開閉バルブをしっかりと締めなかったため灯油が漏れ、付近の用水に流出した。
- 事例2 事業所に設置されている屋外貯蔵タンクの露出配管が屋根雪の落雪により破損し、A重油が小川へ流出した。

※冬期間では融雪とともに汚染（河川・水道水源の汚濁、農地・地下水・土壌の汚染など）が拡大する可能性が高まりますので、特に注意が必要です。

冬期間における除雪のお願い

火事が起きるとその近くの消火栓もしくは防火水槽に消防車が水を確保するために着くのですが、雪に埋まっているとまず消火栓を掘り起こすことからやらなければならない、消火活動に支障をきたす恐れがあります。

そうならないために、消防車で職員・団員が除雪作業に回っているのですが、全部回ったつもりでも行き届かない場所があるかもしれませんのでお近くの消火栓・防火水槽の除雪にご協力をお願いいたします。

